

1. アマチュアバンドのアンテナを展開 (注1)

2月24日13時10分頃、アマチュアバンド系アンテナを展開しました。  
衛星搭載のアマチュア無線送受信機 (HTRX) の電源 ON も確認しています。  
アマチュア無線は3月16日以降に運用試験を開始し、実験に入る予定です。

2. 雷センサの機能確認

VHF広帯域波形測定器 (BMW) は雷の発生地帯、非発生地帯を明確に区分するデータの取得に成功し、装置が正常であると判定しました。

3. レーザ反射実験でレーザ補足に成功 (注2)

2月18日から23日、日本国内でのレーザ反射実験を実施しました。  
JAXA 種子島局、NICT (情報通信研究機構) 小金井局でレーザ捕捉に成功。  
20日には海上保安庁水路部も観測に成功しました。(注3)  
3月2日から22日まで海外を含めたレーザ反射実験を行います。

注1 :

アマチュアバンド系は、430MHz帯 (テレメトリ) および144MHz帯 (コマンド) を使用。  
東大阪と大阪府立大学に2つの地上局を設置している。衛星の状態と大阪府立大学が開発した精  
太陽センサの実験データを受信する。アマチュア無線家向けの受信サービスも予定している。

注2 :

レーザレンジングは人工衛星に向けて発射したレーザ光が反射されて戻る往復時間を計測して  
距離を測定する技術。数cmの精度の測定が可能。人工衛星レーザ測距装置は世界各地にあり、  
測地衛星「あじさい」等の国際共同観測を行っている。まいど1号では、レーザレンジングを用  
いて軌道を決定し、搭載GPS受信機の精度検証を行う。

注3 :

海上保安庁水路部 下里水路観測所

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町下里1981

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/simosato/Japanese/index.htm#>